
君死にたもうことなかれ

翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君死にたもうことなかれ

【Nコード】

N3740M

【作者名】

翠

【あらすじ】

【アルト×シェリル】出撃まで後少しという時、アルトは一番会っておかねばならない人のところに向かう。

TV版第24話 『ラスト・フロンティア』補完

「銀河の妖精シェリル・ノームの歌声が我らの勝利の導きとならんことを……諸君の検討を祈る！」

（……こうやって、追い詰めているのか？ 俺は、俺たちは）

モニターに映し出されていた指揮官の映像が消えると、周囲はあわただしく出撃準備に取り掛かる。

消えたモニターを見つめていたアルトはそっと瞳を閉じ一拍置くと、琥珀色の力強い瞳をのぞかせて歩を進めた。

今、会っておかねばならない人のところへ。

「あ、隊長？」

ジュンが出撃前だと言うのにバルキリーから離れて行くアルトを不思議に思い声をかける。

「先に行ってろ、すぐに追う。」

上官らしい物言いは、ミシェルが聞いていたら口笛を吹いてからかいそうなほどである。

この戦いは、短い間にアルトを大人にするには十分であった。

控え室に入ると、ローブを羽織ったシェリルが鏡の前に座っていた。

「もう作戦開始のはずよ、何しにきたの」

振り向かずに彼女は言う。

シェリルらしいとアルトは一瞬口元を綻ばせたが、すぐに真面目な表情をして鏡越しにシェリルを見つめた。

「シェリル、俺は帰ってくる。この戦いを生き抜いて必ず帰ってくる」

——だから、死ぬな。

……これを言うと、お前は力いっぱい歌えないだろう？

お前がお前らしくあるために、歌って欲しい。でも、お前を失うのは嫌だ。

そして、俺もどうなるかわからない……

でも……それでも……

未来を信じているんだ。シェリル——

「……それだけ言いに来た。」

アルトの言葉に身体をこわばらせていたシェリルが耐え切れないというふうに立ち上がって振り向いた。

「アルト……」

……その顔は今にも泣きそうだった。

アルトは安心させるように優しく微笑むと、伝えられずにいた思いを吐き出し始める。

「人は、一人じゃ飛べない。飛んじゃいけない。それがわかったから……」

俺はバカだったよ。

アルトの脳裏にミシエルや矢三郎に食って掛かっていた自分がフラッシュバックのように浮かんでは消えた。

——シェリル……俺は帰ってくる。お前の元へ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3740m/>

君死にたもうことなかれ

2010年10月10日14時05分発行